

# 調べ物

185703H 松岡 隆斗

2020 年 6 月 15 日

http header とは？

web ページを閲覧する際には HTTP と呼ばれるプロトコルを使って、クライアント (ブラウザ) からサーバへ見たいページのリクエストを送り、このリクエストを元にサーバがレスポンスと呼ばれるリクエスト結果をクライアントへ返す。header にはいくつか種類があり、リクエストとレスポンスの両方に適用される General header、HTTP リクエストに含まれる Request header、HTTP レスポンスに含まれる Response header、Message body の内容を記述する Entity header などがある。

cookie とは

web ページを閲覧する際に http を使って、サーバ、クライアントが通信を行う。しかし http はあくまで静的なコンテンツのみを扱うため、動的なページを表示させることができない。そこで、cookie と呼ばれる技術を使って動的なページを扱えるようにする。cookie は、1 回目のアクセス時に、サーバからクライアントにユーザを識別するための Session ID を渡す。2 回目のアクセスからは、発行された Session ID を使うことで、誰からのアクセスかを判断できるため、動的コンテンツが提供できる。

cookie とはサーバがクライアント側にデータを保存させる技術のこと。動的コンテンツのためのユーザ識別は Session ID によって行われる。サーバは 1 回目のアクセス時にクライアントの情報をサーバ側に保存する。その際に Session ID を発行し、情報と紐付けする。発行された Session ID はレスポンスとしてクライアント側に送り、Cookie を使って Session ID を保存させる。2 回目以降のアクセスに関しては、Cookie で保存された Session ID を使ってユーザを識別する。

cookie は小さなテキストファイルであり、クライアントのコンピュータに保存される。Chrome の場合は /Users/e185703/Library/Application Support/Google/Chrome/Default/Cookies に保存される。

Session ID は Cookie の中に保存される

Cookie が使えない場合に Session ID の受け渡しに HTML の hidden フィールドを利用することがある。しかし、これはブラウザから見えないだけで、ソースを表示すると実際の Session ID を見ることができるため、セキュリティ的によろしくない。